

えんたくつーしん

No.4
令和2年3月発行

「絆で織りなす 住みよいまち上京」へ

次期上京区基本計画の策定に向けた取組を開始！

<円卓会議とは>

上京区基本計画（区の個性を生かした魅力あるまちづくりのための指針）の推進等を図るための意見交換の場です。

<円卓会議委員>

上京区内17学区からの代表者，NPO，大学，公募委員等の約30名で構成されています。

委員の任期は2年（30～31（令和元）年度）で、令和元年度末をもって一部委員が改選となります。

<令和元年度の実施目的>

次期上京区基本計画の素案策定に向け、部会ごとに、それぞれのテーマに沿った課題意識、取組項目、取り組む方策等についての意見交換を全3回行います。

次期上京区基本計画の策定の基本方針

1. 策定にあたっての考え方

（1）計画期間について

次期京都市基本計画の計画期間が、京都市基本構想（2000～2025年）の終期に合わせた、2025年までの5年間であることを踏まえ、次期上京区基本計画も同様の**5年間**とする。

（2）社会情勢への視点

現行の上京区基本計画の目標と成果を踏まえつつ、**レジリエンス**の重要性の高まり、**SDGs**の国連サミットでの採択など、社会経済情勢の変化を踏まえるとともに、厳しい財政状況にあっても、事業の効率化やふるさと納税等の収入確保を図りながら、**人口減少への歯止め、少子化対策**等に真正面から取り組む。

（3）自分ごと、みんなごとに

上京区基本計画推進会議はもとより、これまで区で取り組んできた区民主体のまちづくりを推進する機会（上京！MOW等）を活用するなど、次期計画を「**自分ごと、みんなごと**」として捉えていただき、策定後もスムーズに区民の皆さま全体で取り組んでいただけるよう、**多様な意見**等を策定段階から十分に取り入れていく。

2. 検討体制

上京区基本計画推進会議、円卓会議及び区民の皆さまをはじめとする多くの方々に意見聴取を行います。なお、円卓会議には専門的な見地からの助言等をお願いするため、新川議長に加え、新たに下記4名の学識者の皆様に参画いただいています。

議長



新川 達郎 教授
同志社大学大学院
総合政策科学研究科

ライフスタイル



小谷 真理 准教授
同志社大学政策学部

安心安全



大窪 健之 教授
立命館大学理工学部

まちの活力



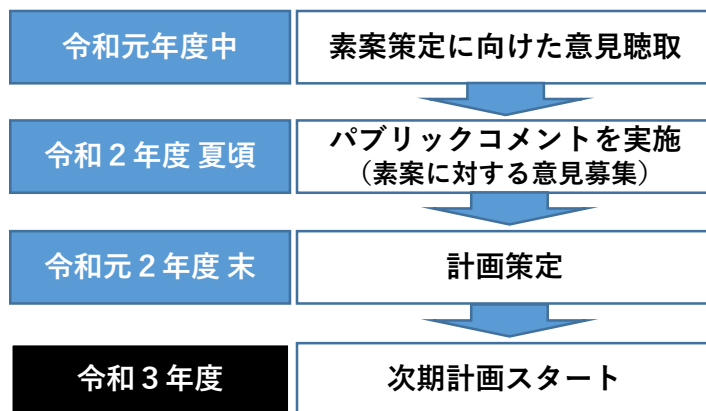
吉田 満梨 准教授
立命館大学経営学部

はぐくみ・継承

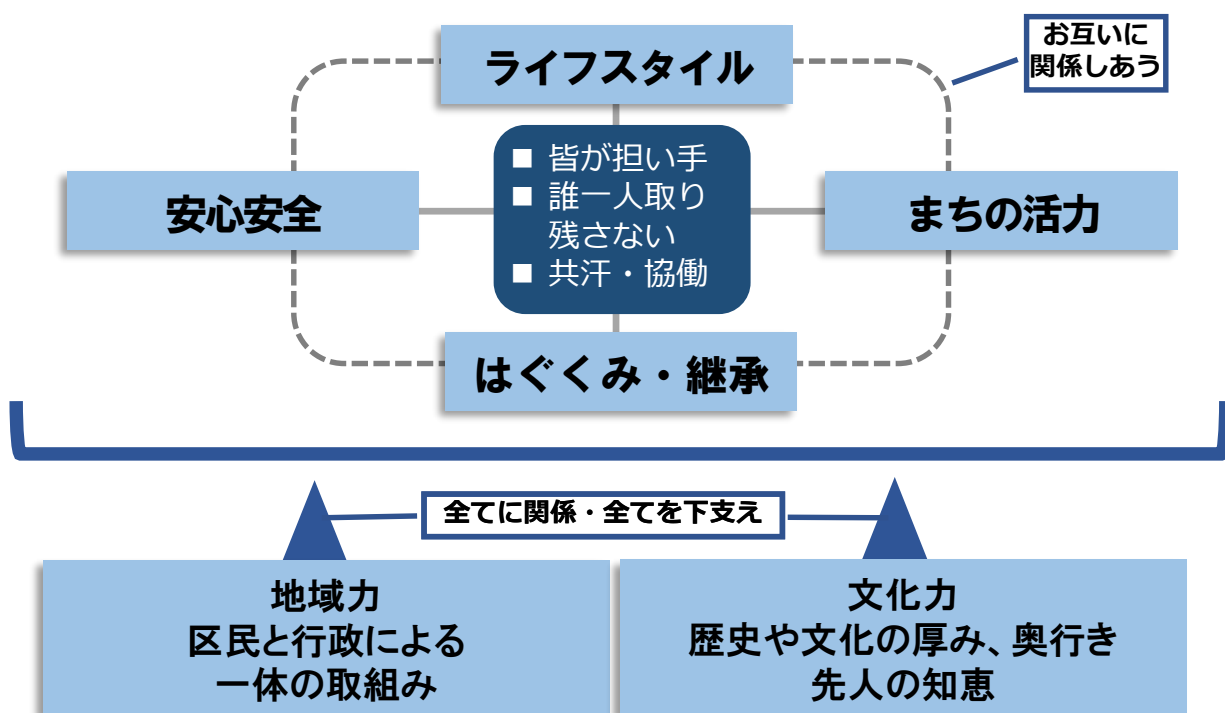


中井 歩 教授
京都産業大学法学部

3. スケジュール



4. 検討イメージ



<検討例>

ライフスタイル	環境、生活を楽しむなど
安心安全	防犯、防災・減災、交通安全など
まちの活力	産業、観光、商業、生業づくり、職住一体など
はぐくみ・継承	子ども、高齢者、多様性（ダイバーシティ）、多文化共生など

文化、地域コミュニティは全てに関係

8/9(金)
9/4(水)

第1回上京区まちづくり円卓会議の様子

委員は4つの部会に分かれて、各部会の視点から検討課題を抽出しました。

※まちの活力部会のみ、9月4日（水）に開催

ライフスタイル 部会

次の5年で取り組むべき課題	課題意識
学生、外国人及び移住者が地域から孤立している	地域との関係性を築く取組が必要
「ほんまもん」が多い上京をどう扱うか	「上京らしさ」を残す取組が必要
町内で子どもたちから挨拶をすることが少なくなった	町内で子どもと大人が触れ合う機会が減少
バス路線が複雑でどれに乗ればよいのかわからない	外国人等にもわかりやすく、かつ京都らしさも残せないか
災害等万が一の際に頼れる人がいない	町内会のつながりが大事
地域行事への参加者はいつも決まった人だけで寂しい	地蔵盆や区民運動会等は、新しく来た人が地域とつながる場なのに残念
自分の町内にどんな人が住んでいるのかわからない	災害時の助け合いができるか不安

安心安全 部会

次の5年で取り組むべき課題	課題意識
大雨や台風時における避難場所	避難場所を知らない人が多い
外国人や単身者が増加している	災害発生時に円滑なコミュニケーションを行うため、日頃からの声掛け等が重要
高齢者への情報伝達	回覧板をしっかりと見る習慣がない
空き家の増加	空き家の発生に対する関与が困難 持ち主は、お金がない等を理由に動かない
上京は夜間の道路が暗いと感じる	景観と賑わいの兼ね合いが難しい
町家での暮らしに不安を感じる	地震や大雨等の災害時の安全性が不安
若者の減少	実家を空き家にして他所で暮らしている



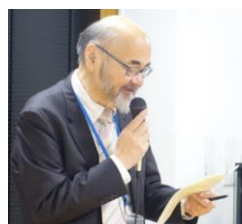
まちの活力 部会

次の5年で取り組むべき課題	課題意識
地域の伝統行事や歴史を知らない人が多い	伝え継承する取組が必要
地域の中小企業が優秀な学生を確保できていない	地域の中小企業による地元の学生に向けた採用活動が必要
上京の情報発信ツールがバラバラ	観光情報等の一元発信拠点が必要
上京の情報発信ツールがバラバラ	住民と観光客への情報提供を分けて考える必要がある
住民の足となる公共交通が不足している	利用しやすい路線等があれば、高齢者も外へ出やすい
地域文化をもっと活用すべき	観光に来た人が立ち寄って情報を得る拠点が必要
まちなかの自転車が多すぎる	シェア拠点を設けて台数を減らしつつ活性化を図れないか

はぐくみ・継承 部会

次の5年で取り組むべき課題	課題意識
引きこもり 8050問題	様々な立場の人を社会で受け入れる場が必要 人と人がつながりを実感できる取組が必要
誰もが住みよいまちの実現	少数者をはじめとする様々な立場の人への配慮が必要
地域の年中行事や地蔵盆の参加者が減少している	子どもと大人の接点として重要な場所を継続したい
貧困・社会の格差を懸念している	サポートする体制づくりが重要
ひとり親・父子家庭	預かってもらえる場等の情報が不足しがち 男性のコミュニケーション能力不足
人口減少・少子化	不動産価格の上昇で、サラリーマン世帯には手が届かない
単身者の増加	出会いの場が必要 長時間労働の是正が必要
顔を合わせた挨拶ができるまち	叱ってくれる人、共感してくれる隣近所の存在が大切
まちづくりへの中学生の参画	学校や自宅以外で、やりがいを見つける場所が必要 新たな体験を通じて、まちを知る力を醸成する
健康長寿	年齢を重ねても健康であり続けることが大切

新川議長の総括：



すべてに共通するのが、①希薄になりがちな人間関係をどう作り直すのか、②「困った」も考え次第ですばらしい「資源」になるということ。上京にある様々な資源（伝統、歴史、文化、社寺、路地、空き家問題等）が人と人とを結びつける種となり、人の関わりの中で、新たな人を育てるという流れになれば良い。

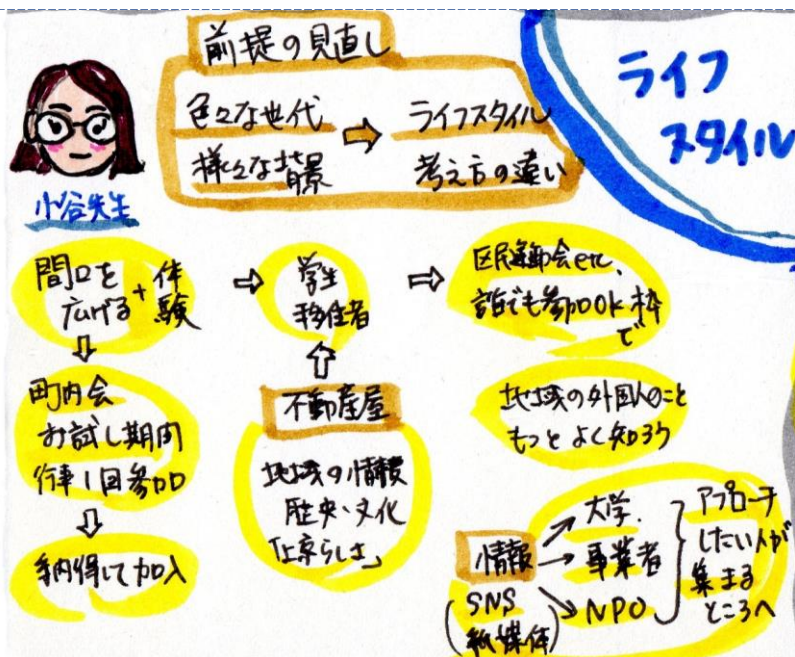
11/11(月) 第2回上京区まちづくり円卓会議の様子

委員のみなさんは4つの部会に分かれ、前回出た課題に対して、考え得る「取組み方策」とそこに関われば良いと考える人・団体のアイデアを出し合いました。

ライフスタイル

町内会に入るのは当たり前という前提を見直し、様々な背景、世代によってライフスタイルや考え方が違うということを念頭に置かねばならない。

町内会参加の間口を広げ敷居を下げる取組や、取組の情報を届ける手段（SNS、紙媒体等）をそれぞれで行うなど、届けたい人へ届くような工夫が必要である。

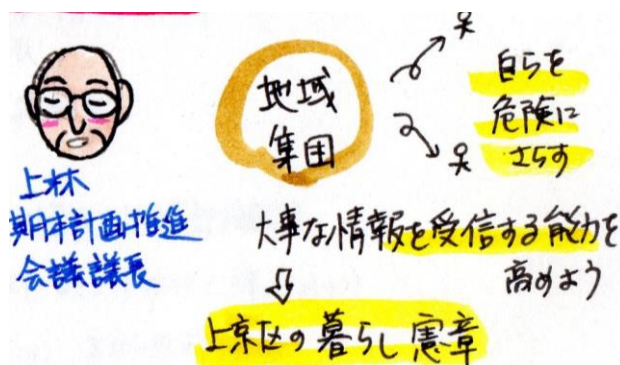
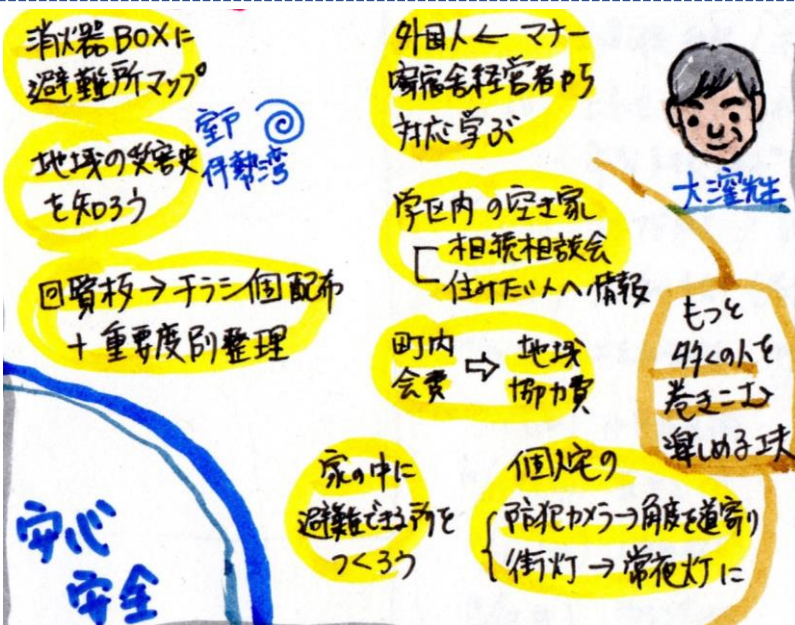


安心安全

7つの課題に対して、実現し得るそれぞれの取組み方策のアイデアを出せた。

特に、地域の持続性を考えた場合、訓練であろうと楽しくないと人は集まらない。

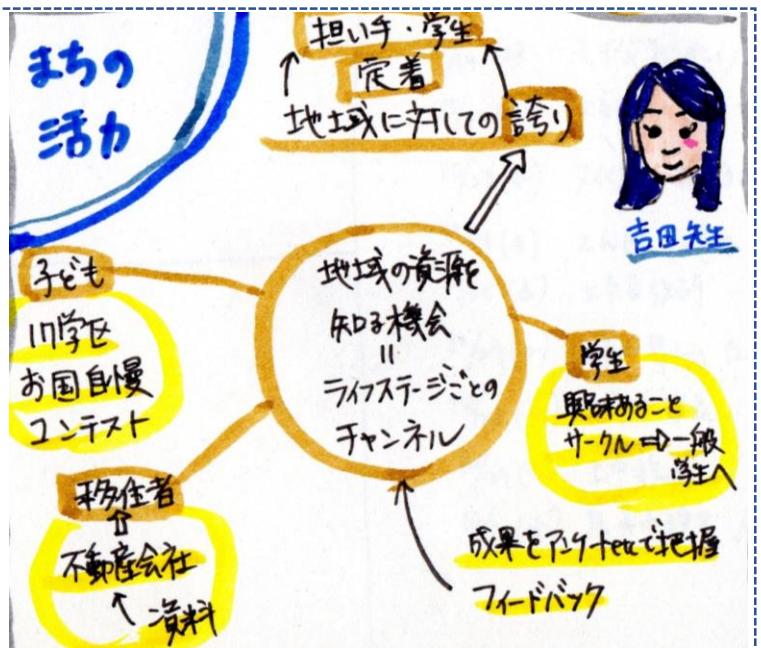
「楽しさは人に伝わる」、
「子どもが楽しく参加すれば、保護者の参加にもつながる」、
そういった視点が必要。



まちの活力

全体的な情報を一方的に押し付けるのではなく、それぞれのライフステージや興味に応じた情報をチャンネルを変えるように具体的に提供すべき。情報の発信者はスペシャリストだけでなく、大学生や小学生が学習し伝えたい内容を同世代に伝わるように工夫するのもよい。

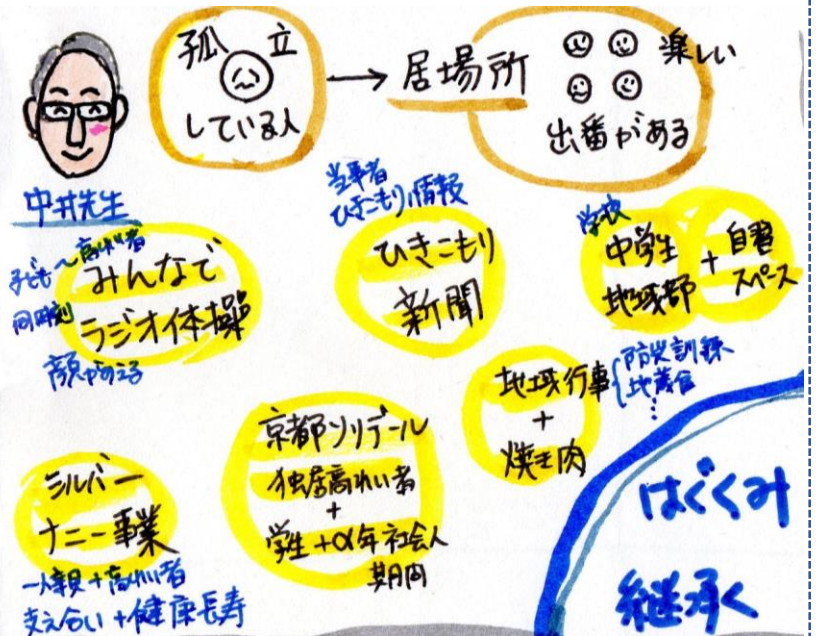
全体の成果はアンケート等で評価しきちんと5年間の計画の中で成果を見える化し活動へフィードバックすべきである。



はぐくみ・継承

前回の課題に共通しているのは様々な理由で「孤立している人たちがいる」、「その人たちに支援が届いていない」、「その人たちのことを周りが見えていない」ということ。

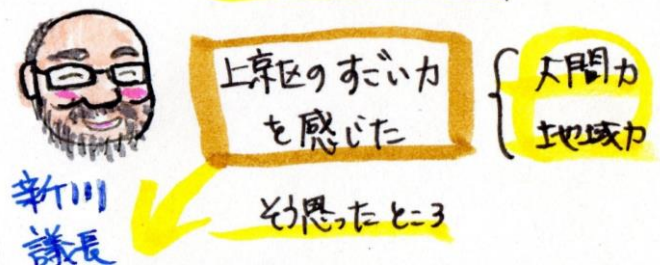
そういう人が集まれる、つながることができる居場所が重要である。キーワードは「役割を果たす」こと、「出番がある」こと、「楽しい」ということ。



新川議長の総括：

上京区のすごい力（人間力・地域力）を感じた。特に、

- ①問題を見極める力、見えないものを見ようと努力する力、過去・現在・未来を見通す力
- ②問題を解決する大元の所に迫る力、乗り越える力、やり抜く力
- ③これが大事だと思うことを共有できている
→その輪を広げる＝聞く力、様々な暮らし方
- ④次へつなぐ人を育てる力、人を育む上京



楽しい上京が未来の上京をつくる！

楽しくないといけないし「上京は楽しい！」とならないと！



＜参加者の傾向について＞

約50名の方が参加しました。参加者の傾向の他、今回は「かみぎゅうくんのLINEスタンプがあるのを知っていますか？」を聞いています。半分以上の方が「知っている」と回答されました。

<プログラム> ■ 上京！meet up

19:00~ 区長挨拶

**19:10～ 進行説明、上京区140周年
記念事業の紹介等**

19:15~ マグネットテーブル

19:30~ ワークショップ

20:00～ 発表

20:25～ 新川議長の総括

20:30~ PRの場

20:40~ 閉会

＜今回の主旨、進め方＞

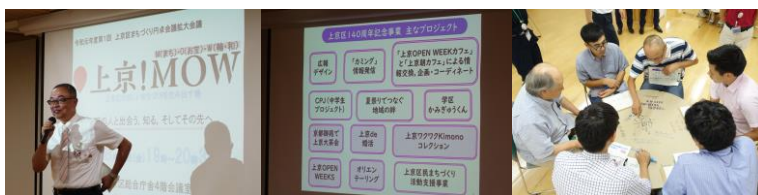
上京区民まちづくり活動支援事業「上京！MOW部門」につながる事業の発掘及び、上京区140周年記念事業「上京文化に親しむ月間」で実施される各種事業の主催者と賛同者、協力者をつなぐことを目的としました。

興味がある事、気になっていることを用紙に書き（今回は二つ）、無言で見せ合い、つながったら面白そうという4～5人で集まり、7つのグループになりました（マグネットテーブルという手法）。

＜参加者の様子・話し合いの内容＞

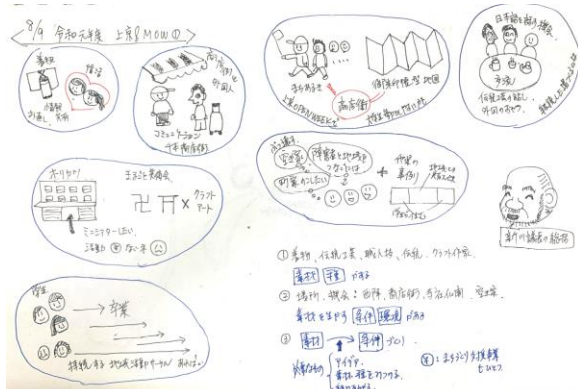
○「上京de婚活」、「上京ワクワクKimonoコレクション」開催にあたってのメンバーやアイデアの増強について、○商店街とまち歩きを繋ごう（食歩歩きへ）、○堀川地域活性化を考える有志の会が「上京文化に親しむ月間」期間中に情報センターを開設、○商店街で外国人とコミュニケーションがとれたら（わかりやすい日本語講座へ）、○学生は卒業するが、持続する地域活動サークルができればいいな、○外国人が日本語を話す機会を求めている、○地域の中に学生が住めたら（抜粋）

これらの内容は、「上京文化に親しむ月間」期間中、又はその後に、多くが実現しました。



新川議長の総括：

上京にはきもの、伝統工芸、職人技といった「素材」「種」がある。一方、西陣、商店街、社寺、空き家等、「素材」を活かす、「場所」「機会」がある。「素材」「種」と、「場所」「機会」と組み合わせるアイデアが出れば、条件がそろろう、ということが今日の話し合いに共通するところでした。



変更のお知らせ

新型コロナウイルス感染予防対策の観点から、下記の方法で御意見を募集することといたしました。

上京！MOW番外編 ～みんな仲間！上京文化芸術祭をつくろう～

○facebook「ふれあいネット カミング」にて、「みんな仲間！上京文化芸術祭」に関してアイデアを募集します。

facebookアカウントをお持ちの方は右記QRコードから入り、コメント欄にアイデア、ご意見を入力ください。

○facebookアカウントをお持ちでない場合は、下記の問合せまで、アイデア、ご意見をお知らせください。



第3回 上京区まちづくり円卓会議

上京区まちづくり円卓会議委員の皆様とのワークショップに代えて、書面にて次期上京区基本計画に係る御意見をお伺いします。

上京ふれあいネット カミングをご存知ですか？

上京区内でまちづくりに取り組んでいる個人、団体、NPO等の情報、上京区内の地域情報及び行政等の情報を集約しそれを広く発信するWebサイトです。小学生から70代までのレポーターが学びながらまちづくりに関わる方々やイベント等を取材しています。取材を通じて、人や思いがつながり、より良いまちづくりになることを目指しています。



レポーター募集！！

取材先や希望などを調整しインタビュー、写真撮影、原稿作成など担当者を決め複数で取材しています。ご自身で興味のある内容取材し、レポートすることも可能です。講座開催など、サポート体制も充実しています。

<http://www.kamigyo.net>



上京 カミング

検索

f



HP Facebookでも配信中 fb



上京ふれあいネット カミング+（プラス）

平成31・令和元年度中に、Webサイトで掲載した記事の内容の一部を、フリーペーパー「上京ふれあいネット カミング+（プラス）」でご紹介します。今年度は、カミング特集として8件の記事を紹介しています。令和2年4月中旬頃から、上京区内の全町の回覧板で御覧いただける他、上京区総合庁舎でも配架します。是非お手にとって、ご覧ください。



お問合せ 上京区役所 地域力推進室 企画担当

(☎ 441-5029 FAX 432-0566 ✉ kamigyo@city.kyoto.lg.jp)

令和2年3月発行 京都市印刷物 第315125号